

# フィリピン台風 30 号緊急募金

～平成 25 年 11 月 8 日早朝、台風 30 号がフィリピンを襲った～

この台風で

- ◎ 被災した人の数・・・1, 440 万人以上
- ◎ 死亡者数・・・6, 100 人以上  
(1800 人が未だ行方不明)
- ◎ 家を失い、避難民となった人の数・・・440 万人
- ◎ 支援が必要な子供の数・・・600 万人
- ◎ レイテ州タロバン、市の 90% が倒壊



合わせて 145 億ドル (約 1 兆 3400 億円) の被害となった。

そして、2 ヶ月たった今、二次災害が発生している。

- ◎ 物資の支給に格差があり、水や物資が十分に届かず、略奪が起こる、死者が出るなどしている地域が出てきた。
- ◎ がれきを自ら焼却処分することにより、大気が汚染され、呼吸疾患も増えている。

国連が支援を呼びかけた結果、集まったのは目標金額の 30% 程度である。

今もなお、被災地で助けを求めている人がいます。

そんな人を一人でも救うために、私たちが出来ることをしたい！

そこで、一人でも多くの人を救うために募金活動を行いたいと思います。

**私たちが今できることを！！**

ご協力よろしくお願いします。

**フィリピン台風被害**



## <JRC 部員からのメッセージ>

自分たちの寄付でいろいろなものを届けることが出来ると知り、フィリピンへの寄付に興味を持った。2000 円で清潔な水を 2 家族分届けることや、3000 円で毛布を 5 枚届けることができる。一人一人の小さな募金でも、それがたくさんの寄付となり、大きなものになると思う。

東日本大震災があったからこそ、フィリピンの被災も一刻も早い復興につなげるため、協力したい。



台風 30 号で被害を受けたフィリピンには、日本の自衛隊や米軍が派遣され、食料等物資の輸送や、衛生面などで活躍している。しかし、そのような支援が届かず孤立している人々も大勢いる。そのような人々を救うために、義援金を集め、一人でも多くの人々を飢えや病気などの苦しみから救うことが今、私たちに出来る支援であると思う。

すべての建物を時速 300 キロに耐えられるように義務づけられたため、復興には 10 年かかり、新しい国を造る位大変なことであるという。私は、復興の見通しが立っているだけ、まだ良い方ではないかと思っていたが、やはり 10 年は長いと思う。募金活動を通じて、少しでも貢献したい。



このニュースを見て、全然ことの重大さを分かってなかったと実感した。外国のことだと思ってあまり重要視していなかったけど、被害が思った以上にあって驚いた。今でも新しく死者が増え続けているので、少しでも早く解決して欲しいと思った。

建築家協会の専門家が、復興には約 10 年かかると見通した。2004 年のスマトラ沖地震より被害が大きいという。

2011 年に起きた東日本大震災を経験した私たち日本人は、このフィリピンで起きた台風の復興に少しでも協力しなければならないと思う。たくさんの国から支えられ元に戻りつつある日本。東日本大震災で世界からももらった恩を、今度は私たちが返していく番である。



ニュースを見て、死者や被害がすごく多くて被害の大きさを改めて感じることが出来た。まだ、行方不明の人たちもいるので、早く見つかって欲しい。一刻も早い復興を願っています。